

色泣き試験機

＝用途＝ 本試験機は、一般財団法人カケンテストセンター殿よりのご指導の基で弊社にて設計・製造を行い「カケン法色泣き試験機」として呼ばれております。色泣き試験とは、色の異なった縞柄や濃淡のあるプリント生地が洗濯、雨に濡れた状態或いは発汗した際、濃色部分が淡色部分に色移りを起こす現象を言います。つまり淡色部分が濃色部に汚染される事を意味します。これは、一般衣料生地だけでなく、例えば布製バッグが雨に濡れ、バッグの色が着衣に付着する事や濡れた衣服を着たまま車のシートやソファに腰掛けた時、色泣きが発生する事もあります。製品がこの色泣きを起こすと大きなクレームを引き起こす要因となり、染色仕上げ時或いは製品となった時点でもこのチェックを行う事が非常に重要なファクターとなります。

＝試験方法＝ 試験方法としては、縞柄やプリントの場合は、試料の上端をこの装置のハンガー上部にテープ等で貼り付け、下端をハンガー下部のピンに差し込み、予め用意された水溶液（濃度の薄い界面活性剤／洗剤等）バスにハンガーの下部を浸漬させます。縞柄やプリント生地でない単色生地に関しては、約 25LX30Hmm 程度の白綿布を試料の下部の一部に縫い合わせ、そしてその部分を同様に浸漬させ試験を行ないます。そして一定時間（約 2 時間）経過後、試料を水溶液から取り出し、自然乾燥の後、汚染用グレースケール等で色泣き（色移り）の度合を判定致します。

＝特徴＝ この試験には多くの時間が必要となる為、一度に Max.100 試料の試験が同時に行なえます。試料取付ハンガー下部の固定ピン採用により、試料が水溶液から浮き上がる事を防止できます。試料の装着が容易で作業者によりデータの差異が非常に少なくなりました。一般衣料品だけでなく、布製カバン、シート類の試験も行なえます。

＝仕様＝
 型 式： IT-CM
 試料掛け数： 1～100
 試料ハンガー： Max.10 試料／ハンガー、下部試料装着用特殊ピン式
 設置寸法： 570W X 430D X 310Hmm

＝構成＝

サンプル・ハンガー（10 試料／組）	555W X 15D X 320Hmm	10 組
サンプルハンガー・スタンド	570W X 430D X 260Hmm	1 組
水溶液（洗剤等）槽	550W X 370D X 80Hmm	1 組



*改良の為、仕様・概観は予告なく変更する場合があります。